

**【事務事業調査】**

事務事業名	小山文化スポーツ振興事業費			予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					001-10-04-01-003-01-02-0
担当部課	教育部 生涯学習課	担当	生涯学習係	事業の分類	既存事業
		係長	宇塚利和		

**■事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H23 事後評価 小山文化スポーツ基金による青少年健全育成活動(ソフト事業)を行う個人や団体に事業費を補助しました。 ○補助事業の実施団体については、公募形式とし適否を事業認定選考会で審査しました。 23年度交付団体 9団体	将来の町を担う若者を町民自らの手で育てることで、青少年の健全な育成につながります。 ○事業費補助という側面的な支援メニューを設けることによって、団体等の自らの創意に基づく自主的な活動が促進されます。 ※ソフト事業とは、土地、建物、工作物、備品等の整備に重きを置く事業でなく、青少年健全育成に繋げることに重きを置き、具体的な手段(活動内容)を明確に提示している事業のことをいいます。
	H25 事前評価 小山文化スポーツ基金による青少年健全育成活動(ソフト事業)を行う個人や団体に事業費を補助します。 ○補助事業の実施団体については、公募形式とし適否を事業認定選考会で審査します。	
実績		

**■活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
小山文化スポーツ基金申請団体(個人)数	15件		たくさんの団体(個人)が青少年健全育成のための活動を行うことで、地域のみならず青少年を育てる機会が高められるため。 1団体あたり 補助金上限額 300,000円 ※平成22年度 交付団体11団体 ※平成23年度 交付団体9団体 ※平成24年度 交付団体14団体

**■事業費(計画)**

【単位:千円】

細節	金額	積算根拠
1 補助金	3,000	小山スポーツ振興基金 @3,000,000円
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	3,000	

**■事業費(実績)**

【単位:千円】

細節	金額	特記事項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	0	

**■事業経費**

		計画 【千円】	実績 【千円】	特記事項
予算	当初予算額	3,000		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決算	決算額			
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源	3,000		小山文化振興基金
	計	3,000		
	差引(一般財源)	0		

■補助金等名：小山文化スポーツ振興事業補助

■補助事業者等：

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる：5点
- (2)あてはまる：4点
- (3)どちらかというにあてはまる：3点
- (4)どちらかというにあてはまらない：1点
- (5)あてはまらない：0点

★総合評価基準

- (1)継続：総得点が35点以上
- (2)見直し：総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	4	事業の趣旨に「青少年の文化教養・スポーツの振興並びに健全育成の推進を図る」を掲げているので、公益性は保たれると判断します。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	4	将来町を担う青少年を町民自らの手で育てることで、「地域のみinnで青少年を育てる」という町の政策に適合するものと判断しています。ただし、行政、住民ともに、上記の理念が十分に意識醸成されないままに運用されている感があります。町民自ら企画運営する事業であるため、町民のニーズに即し、先見性・発展性があります。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	5	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	申請による補助なので、民間、NPO、ボランティア等、既存団体も同様に申請することができます。また、小山文化スポーツ振興事業認定選考会にて、認定の適否、補助金額を審査しているので、公平性は保たれています。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	4	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	3	事業効果は、すぐに表れるものではありませんが、こうした町民の主体的な事業が「地域が一体となった青少年の健全育成」に繋がるものと判断します。
		■予算の見積が適正である。	3	
5	適格性	■実施体制が明確である。	4	「補助終了後の自主運営」については、団体の自立が期待どおりにいかないという現状にあります。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	3	
合計点数		40		
総合評価		継続		